

活動テーマ

Hanno Happy Woody Project
—木材を有効活用して観光まちづくり—

飯能市下名栗地区 駿河台大学

1 活動目的

活用されない木を有効に利用し、地域活性につながる楽しいプロジェクトを行うこと。

2 活動地域の現状

森林率 94%の飯能市下名栗地区では過疎化がすすんでいる。持続可能な社会をつくるためには、山間地域に人が留まる仕組みづくりが急務となっている。

一方で、かつて林業で栄えた名栗地区では、西川材に関わる事業所の数が減り続けている。また、間伐された木々は放置されたままとなっている。林道の整備もままならず、倒木が放置されたままになっていることも多い。

3 活動内容

- ・動力機械の使い方を習得し、木の人形作りを行う
- ・不要な材や間伐材を集める算段をたてる
- ・活動をPRする

4 成果

- ・地域イベントに参加し、コミュニケーションをとることができた。
- ・木の人形作りのコツを達人から教えてもらった
- ・地域の様子を歩いて確認。バスの数が少なく、年配者が多いので、バス停や店舗（少ないが）を中心に人形（椅子）を設置することにした。
- ・賛同してくれそうな方を見つけつつある

5 課題

- ・人形作りが思いのほか難しく、木の椅子づくりへ変更した。
- ・飯能市の第5次総合振興計画では「北欧の雰囲気」が重要視されているので、観光まちづくりをするにあたり、何が北欧風となるのか考える必要がある。

6 次年度以降の計画

- ・不要な材や間伐材を集める算段をたてる
飯能市の農林課や名栗地区行政センターと連携しつつ、不要な材を集める、片付ける
- ・活動をPRする：地区のイベントや祭りに参加し、自分たちの活動をPRする
- ・協力者を募る：一緒に活動してくれる方を集める
- ・北欧を意識するために他地域の事例を確認しに行く。



人形作りの達人に習う！



間伐材から人形を作る！



地域を知る！



地域イベントのスタッフ